学校だより
しいの実
令和２年６月３日
第4号
鈴鹿市立鈴西小学校
目指す学校像 「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ ６月１日に，学校を再開できました

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く，有効性が確認された特異的なワクチンは存在しません。国内外の感染状況を見据えると，私たちは，長期間，この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。このような状況の中，学校では次の３点に重点を置いて取組を進めていきます。

① 感染症対策を続けながら，健やかな育ちと学びを目指します

学校においても，毎朝の各家庭での検温や，「３つの密」を徹底的に避ける，「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」，放課後の子どもたちの机や共用部分の消毒など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入します。感染リスクはゼロにならないということを受け入れつつも，感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しながら教育活動を継続することで，子どもたちの健やかな育ちと学びにつなげていきます。

② あせらずに「日常」を取り戻します

子どもたちは，まだ４月に３日間（１年生は２日間），５月の分散登校４回しか登校していません。新しい担任との関係づくりや，新１年生やクラス替えのあった５・６年生での友だち作り・仲間づくりもまだまだこれからです。今年は，例年の４月末は６月第３週末に，例年の５月末は７月第２週末に，やっとやってきます。教員の間では，焦らずに例年通り１つ１つの活動を丁寧に積み重ねていこうと確認しています。

③ 子どもたちの休校中の頑張りを認めていきます

世界中で，大人たち自身も不安とストレスを抱えながら感染症とのたたかいに取り組んでいる中，子どもたちが受けている影響も想像にかたくありません。臨時休校中，子どもたちは長く家に居たり，自分なりのストレス解消法を見つけたりと頑張ってきました。一人で勉強を進めたり友だちとも会えなかったりと，つらかった事も寂しかった事もあったと思います。私たち教員はこの頑張りをしっかりと認めていきたいと思います。

■ 本当に久しぶりの給食，メニューはカレーでした！

給食の配膳でもフェイスシールドは活用！　今は我慢，前を向いて静かに食べます！

■ 教科の授業を次のように進めます

「児童生徒が長時間，近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」は，感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動と考えられますので，次のような対応を行います。

① 机の間隔は，前後左右できる限り間隔をあけるようにします。

② グループワークやペアワークなど，机を寄せた授業形態は避けます。コミュニケーション活動の場合には，お互いの間隔を１～２m程度確保するようにします。

③ 特別教室での授業では，グループ単位による座席配置の場合は，可能な限り教室で全員が前を向いた形式に変更します。

【理科】近距離で活動する実験や観察では，フェイスシールドを活用します。

【体育】子ども同士が密着する運動，近距離で組み合ったり接触したりする運動は避けます。集合隊形はいつもより間隔をあけて整列します。また，体育館で実施する場合は，活動中も換気に努めます。
今年度は，水泳は行わないこととします。

【音楽】合唱は，子どもの間隔をできる限り離し，マスク及びフェイスシールドを着用して行います。
また，器楽の学習は行わないこととします。

【家庭】調理実習は実施しないこととします。

鈴鹿市教育委員会の「感染症対策マニュアル」と
文部科学省の「衛生管理マニュアル」から抜粋

■ 学校行事を次のように検討しています

学校行事の実施に関する方針が，鈴鹿市教育委員会から次のように出ています。

○ 鈴鹿市教育委員会の「感染症対策マニュアル」から

「運動会・体育祭，文化祭・発表会，修学旅行，社会見学，遠足，自然教室・キャンプ，儀式的行事など，多くの人数が集まる行事や宿泊を伴う行事については，感染の拡がりや，緊急事態宣言等の発令状況などをふまえ，実施時期，実施内容，実施時間，行先，参観者の範囲などの見直しや中止などを検討する。」

○ 鈴鹿市教育委員会の文書「今後の学校教育活動について」から

（１）運動会について

・９月以降の実施とし，密集及び密接を避けたプログラムや日程を検討する。

・保護者及び来賓等の参観等については，今後の情勢を踏まえ，改めて通知します。

（２）文化祭・発表会等について

・３つの密（密閉，密集，密接）を避けた方法を検討し，実施又は中止する。

本校では，今後の感染の広がりにもよりますが，この方針に沿う形で可能な限り実施していきたいと考えています。特に，６年生の修学旅行や５年生の県外への社会見学などその学年でしか経験できない固有の行事は，学級集団の成長の機会であり，子どもたちが楽しみにしている行事なので，ぜひとも実施したいと思います。